

所沢市立荒幡小学校 学校だより



みどりの子

9月号

24.9.3

学校教育目標

ふるさとを愛し、進んで学ぶ子

①かしこく ②なかよく ③たくましく

大人同士の絆の中で

校長 橋本 徳邦

夏休みが明け、子どもたちの元気な声が学校にかえってきました。

子どもたちにとって、今年の夏休みも学校外での貴重な体験をする機会になったのではないかと思います。

夏休み中には、林間学校や水泳記録会などの学校が主催した行事のほか、荒幡町内会夏祭り、おやじの会主催による縄文土器野焼き体験、PTA校外指導部主催の親子除草、子ども会育成会によるラジオ体操、荒幡地区、松が丘地区の防災訓練等の行事がありました。それぞれの行事に多くの子どもたちが参加してくれました。また、多くの保護者の皆様、地域の皆様にもご参加いただき感謝しています。

こうした行事の中で、改めて、荒幡小の子どもたちは温かい大人の支援、配慮の中で成長してきていることを実感しました。荒幡小の子どもたちのよさは、周りの大人とのかかわりの中で醸成される、大人や地域社会に対する信頼感が基盤になっていると思います。

今後も、荒幡小の子どもたちのよさをさらに伸ばしていくために、保護者、地域の方々、教職員等の大人同士の絆をさらに深められたらと思います。

9月から12月にかけては、子どもたちのがんばりを見ていただくことのできる行事がたくさんあります。運動会、校内音楽会、学校公開、持久走大会などなど……。

お忙しい中とは思いますが、ぜひ学校に足を運んでいただいて子どもたちのがんばりを見ていただければと思います。

よろしくをお願いします。



- 8月24日（金）に、所沢市環境クリーン部が主管する「地球にやさしい学校大賞」の表彰式がありました。平成23年度の荒幡小の環境教育の取組に対して、「奨励賞」をいただきました。「奨励賞」は昨年度に引き続いて、2年連続の受賞です。